

▶ 人権に関わる問題

■ インターネット社会における人権問題

インターネット上では、誹謗中傷やいじめ、差別的書き込み、個人情報の流出等により、人権を侵害する事案が発生しています。また、インターネットを介して犯罪に巻き込まれることもあります。

このため、インターネットを正しく利用するための啓発・教育の充実や問題事案への対処により、情報モラルの向上と人権侵害の防止を図ります。

■ 災害時の人権問題

災害の被災地では、様々な人権問題が発生しています。

このため、被災者の安全・安心を確保し、一人ひとりの多様なニーズに対応できるよう、人権に配慮した防災教育・啓発及び避難所運営や復旧・復興に多様な立場の人が参画する仕組みづくりに取り組めます。

施策の基本方向

- 人権意識を持ったインターネット利用の啓発活動の推進
 - 情報モラルに関する教育の充実
 - ・インターネットに関する情報モラル教育の推進
 - ・家庭におけるインターネット利用のルールづくり等の促進
 - 安全・安心なインターネット利用の促進
 - ・青少年を取り巻く有害環境の浄化
 - ・NPO 法人との協働による青少年のインターネット利用環境づくり活動の推進
 - インターネットを利用した人権侵害行為への対応
-
- 災害発生時の人権への配慮に関する教育・啓発の推進
 - ・災害時の人権に関する教育・啓発の推進
 - ・風評等に基づく人権侵害事案の発生予防
 - 人権に配慮した防災対策
 - 避難所における要配慮者への適切な対応
 - ・多様な立場の人の参画による避難所運営
 - ・要配慮者への対応
 - ・避難所における防犯対策の実施
 - ・相談体制の整備
 - 被災者の生活支援

▶ 複合的な人権問題

障害のある外国籍の子どもや高齢女性の生活困窮者等のように、人には複数の属性があることで、差別や偏見を重複して受け、より困難な状況に直面することがあります。このため、人権問題の解決に当たっては、複合的な視点が不可欠であり、それを踏まえた人権教育・啓発に取り組めます。

なお、属性のうちで性別は、誰にとっても関わりがあることから、性別に起因する（特に女性の）人権の視点を横串で通すことが必要です。

▶ 様々な人権問題

これらのほかに、難病患者やHTLV-1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）のキャリアの人権、個人情報の保護に関するものなど、様々な人権問題もあります。

また、世界には、未だ戦争や民族紛争、迫害等の深刻な人権問題が存在し、世界中に人権を侵害され、命の危機にさらされている人がいます。

誰もが、人権を侵害され、日常を奪われるリスクを抱えています。国内外の様々な人権問題について理解を深め、その解決を図るため、人権教育・啓発に取り組めます。

